

2013年5月26日 「新しい天聖經の意義と価値」

今週は、「新しい天聖經の意義と価値」についてのDVDを視聴しました。

< 新しい天聖經の意義と価値 >

1、天聖經が下賜された歴史

2003年10月25日、第44回真の子女の日に日本に与えられました。第44回真の子女の日は、天一国元年（蘇生）2年（長成）3（完成）と続いてきた摂理の集大成の日であり、宇宙父母、天地父母が全責任分担を終了し、天地人父母が子女に勝利圏を相続した日と伝えられています。

2、「天聖經」とは何か？

「天聖經」とは、天の聖なる家庭のための不変の真理書（經書）であり、宇宙天地父母様から、祝福家庭に与えられた貴い書物です。また御父母様のみ言によれば、「すべての祝福家庭は今後、天聖經を中心としながら、天の伝統を継承すべく訓誦会の伝統を立て、訓誦家庭教会の安着を目指していかなければなりません」と論じています。

3、新たな「天聖經」編纂の根拠

それは天基3年天曆7月29日の真のお母様のみ言に因ります。

「お父様のみ言が整理整頓されなければ将来混乱が起きることでしょう。ですから、み言を整理することが急がれます。本格的に後代の人々が見ても測ることのできない原理原則。根は一つ、幹も一つ、実も一つです。永久・永遠なるみ言として残さなければなりません。」

4、新しい「天聖經」と「平和經」の概要

①新しい「天聖經」・・・み言選集615巻全てから主題別に選別し、信仰の奥義をまとめたもの。

②「平和經」・・・全人類に向けて平和の真髓を語られた340余編の大会講演文の中から180余編を1冊にまとめたもの。